



未来都市模型の製作 ～宇都宮未来都市構想～ 環境建設システム系

記念事業報告

目的

宇都宮工業高等学校は果敢に挑戦する強い実力を目指し、コネクテッドシティプロジェクトと題し、宇都宮未来都市構想～宇都宮工業高等学校版～を掲げました。

現在、日本だけではなく世界各地で、コネクテッドシティやスマートシティと銘打ち、さまざまな構想が発表されています。しかし、これらは各市や企業によるものがほとんどです。そこで、全国の工業高等学校に先駆けて、このコネクテッドシティ計画を提案しました。

環境建設系では、宇都宮工業高等学校を中心として、周辺の既存の施設の有効活用や新たな交通網の検討、IoT等の先端技術を取り入れた未来のまちづくりについて検討し、未来都市の模型製作に取り組んでいます。



グループディスカッションの様子

スケジュール



対象地区のエリア分け

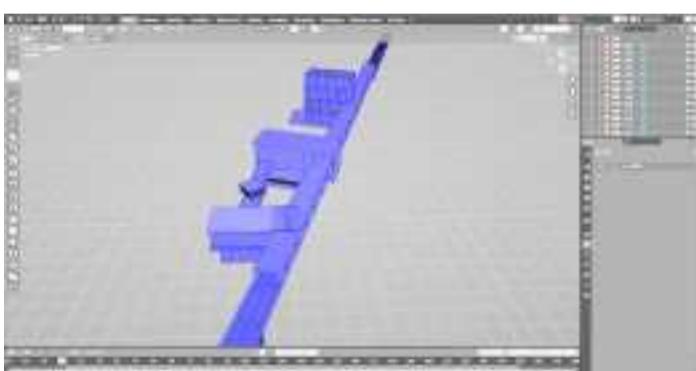
2021	<ul style="list-style-type: none">・現地調査・まちづくり事例調査・雀宮地区の特色や課題などを整理・対象地区的エリア分け・未来のまちづくりのアイデア出し・地区のシンボル整備のアイデア出し・ランドマークのデザインを検討・土木学会関東支部栃木会で発表	2022	<ul style="list-style-type: none">・整備施設の検討・地形模型の製作・建物等の模型製作モデリング 3Dプリンタによる造形・土木学会関東支部栃木会で発表・未来都市模型の完成
------	--	------	--



ランドマークのデザイン案

経過

- ・親和図法により、雀宮地区の特色や課題などを整理し、今後、取り組んでいく未来のまちづくりの方針をまとめた。
- ・雀宮地区の特色や課題などを整理し、対象地区内の既存の施設の有効利用や特色などを考え、中心地エリア、商業エリア、環境エリア、住居エリアの4つに分け、未来のまちづくりのアイデア出しを行った。
- ・本校建築デザイン科と共同で交通の拠点となるJR雀宮駅周辺の整備について検討を行った。



JR 駅周辺モデル



モデリング作業



切り抜き作業

これまでの成果および今後の見通し



3D プリンタによる造形

2021年度は対象地区的エリア分けを行い、各エリアの特色を生かした整備のアイデアをまとめた。2022年度は、それをもとに模型製作に取り組んでいる。

模型は、地区のシンボルとなる中心地エリアと商業エリアを結ぶ範囲とし、スチレンボードを使用して地形模型を作成したり、3Dプリンタを活用して建物等を作成したりして、アイデアを模型により可視化し、未来の雀宮地区を表現していく。



Utsunomiya Technical High School
栃木県立宇都宮工業高等学校